



産経新聞の記事を選び、「未来の兆し」について考える生徒たち―奈良県橿原市

記事から「未来の兆し」読み取り

奈良・聖心学園中等教育学校で授業

聖心学園中等教育学校(奈良県橿原市)で14日、「新聞から『未来の兆し』を創ろう」と題した授業が開かれた。同授業は同校と大手予備校の河合塾が進める「未来探究プログラム」の一環で、生徒らは



は、同校の中等4年生(高校1年生)の約40人が参加。「探究活動」の一環として実施されている。

この日の授業では、産経新聞大阪本社編集企画室の田井東一宏次

長がゲストティーチャーを務め、新聞記事の成り立ちや作り方などを説明。「記事は起こったことだけではなく、その背景には未来への兆しが隠されている」と述べた。

産経新聞の記事から読み取れる「未来の兆し」探しに挑戦した。授業に「産経新聞の中からそれぞれ選り取り、記事から想像される『未来の姿』について、レポートにまとめた。

同校の西川凜さん(16)は「新聞は難しいと思っていたが、読んでみると知らないニュースも多くておもしろく、興味を持った」と話していた。